

鬼火たき

1 月13日と14日、健康や豊作を祈願する新年の風物詩「鬼火たき」が町内の各地区で行われました。鬼火たきは地区によってはどんど焼きとも呼ばれ、竹のやぐらの中に地区の皆さんが持ち寄ったしめ飾りなどを入れ燃やします。このときに鳴る「パンパン」という大きな音をたててはじける竹の音が「鬼」を追い払い、無病息災や厄難消除などの御利益をもたらすといわれ、皆さんは、家族の健康や今年の豊作を願いながら、燃え上がる炎を見守っていました。

上中元寺



町二



下落合



野田



町長室

1月17日、行政区長 会会長の谷区長、役員 の藤川区長から令和6 年能登半島地震への見

舞金を頂きました。添田町でも豪雨災害 時には各所からお見舞いを頂いたところ であり、恩返しと言う訳ではありません が、お亡くなりになられた皆さんや今な お避難生活等行っている皆さんへ役場入 り口で見舞い金のご協力を呼びかけてい ます。よろしく願います。▼1月は、

これまでも大規模な地震がおきています。 29年前の阪神・淡路大震災が1月17日 であり、今回の1月1日能登半島地震です。

▼いつ起こるか分からない自然災害の地 震、予知に向け懸命な努力をされていま すが、その対応は難しいようです。添田 町も大雨による土砂災害を事前に察知 し、早めの避難を呼びかけようとのこと

で、落合地区でセンサーを設置するなど そのデータの収集を行ってきましたが十 分な状況では無く一端終了しているこ ろです。▼事前予知が難しい中、起こっ たときの避難が重要になってきます。今

回では、普段の計画的な避難訓練行動等 が役に立ったと報道されています。避難 行動、避難所での対応等、常々言われて いますように多くの皆様の支援は元より、

地域の皆さんの結びつき、絆が必要です。 ▼添田町も地域のコミュニケーションが 必要だと「みんなでまちづくり」を掲げ ています。▼言葉の意味は、町だけが建

物を作るなどで「みんなでまちづくり」 を行う事ではありません。日常が楽しく

助け合って生活する。いざという時に助 け合える関係が「みんなでまちづくり」 だと考えています。▼気遣う前に自分が 気遣われる立場であり、何も出来ないと思 われる方もいるかもしれません。しか し、地域で集いお話しする中で、コミュニ ケーションの輪の中で出来ること、気 遣うことはいろいろあり、あなたにも出 来るのではないかと思います。日常は、煩わし さが先立ちみんなの輪の中に入ることを 躊躇しているのではないのでしょうか。▼

各地区では行政区長さんが色々工夫し先 頭に立って地域をまとめて頂いています。

▼伊原行政区では、茶のみ場を設けたり、 地域の出来事などを書いた通信を発行し 回覧板で回しています。様子がよく分か ります。老人クラブもいろんな事で気を 配っています。初めては中々入れない、

受け入れて貰えないのではなどと躊躇し ている方はまずは行政区長さんに立ち話 してもしてみてもどうでしょうか。「じゃあ明日の集まりに来てみては」ときつと 言われると思います。▼行政区の組に入っ

て「みんなでまちづくり」を実践して頂 きたいと思っています。町としても出来る事 はしっかりと行っていきます。▼今回の能 登半島地震で再度考えさせられたこと

です。絆で結ぶ「まちづくり」、まさしく その中心にいるのは皆さんです。▼改め て、令和6年能登半島地震でお亡くなり

になられた方々にお悔やみ申し上げます と共に被災し今なお避難生活を送られて

いる皆さんにお見舞い申し上げます。一

日も早い復旧復興をお祈り致します。

発行/添田町 編集/総務課 〒824-0691 福阿黒田川部添田町大字添田 21-51 番地 ☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869 ホームページ http://www.town.sosedai.fukujokajp

印刷/丸五印刷株式会社 ※広報そえだは再生紙を使用しています

広報そえだ 令和6年2月号

2 2024

